



WNT

WORLD NUQUMORITY TRANSPORTERS Project Overview

WHITE PAPER

March 2019

ぬくもりをもっと近くに・・・

災害が起こっているのに何も出来ない。

支援したいのに手が届かない。

困っている人がいるけど、

お金の余裕が無いから中途半端になってしまう。

そこまで真剣に取り組める時間が無い。

何をどうしたら良いか知識も無い。

そういった方のぬくもりをぐっと届けやすくします。

INDEX

- 2 ABOUT & INDEX
- 3 序文
- 4 World Nuqumority Transporters の目的と活動
- 6 DAG(Directed acyclic graph, 有向非巡回グラフ) とは
- 8 プラットフォームの開発
- 10 スマートコントラクト・ItemCode
- 12 ItemCode の経済圏
- 13 ItemCode の具体例
- 14 マイニングのシステム開発管理事業
- 15 公式キャラクター
- 16 ROADMAP
- 17 PROJECT TEAM

1. 序文

サトシ・ナカモトを名乗る人物が発表した論文によりビットコインが誕生し、ブロックチェーン技術の登場はこれまでの中央集権が管理する通貨の概念に大きな革命を起こしました。

それからわずか 10 年の間にブロックチェーン技術を使った多くの仮想通貨が登場しましたが、多くの問題も発生しました。

ビットコインを例で挙げると、ビットコインのブロックサイズは 1MB と定められています。

これによって 1 ブロック当たり約 4000 件のトランザクションを約 10 分で処理することができます。

しかし 2017 年 12 月頃、送金要求量が 1MB を超えてしまい、送金待ち件数が 10 万件を超え、いわゆる「送金詰まり」の現象が発生しました。ビットコインでは高額な手数料を支払うことで早く決済が行われる仕組みです。

ビットコインは高額な手数料を支払うことで早く決済が行われる仕組みですが、送金詰まりが発生してしまうと、その分送金手数料が吊り上がってしまいます。これら取引手数料の上昇とトランザクション処理の遅延が俗にいうビットコインのスケーラビリティ問題です。

この問題によりビットコインの当初の目的である「安い手数料で早く送金することができる」は過去のものとなりました。

「スケーラビリティ問題」はブロックチェーンの基本的な性質に由来する問題です。

仮想通貨の大きな特徴である①だれでも（人的普遍性）、②瞬時（迅速性）、③確実に（確実性）、④どこにでも（地理的普遍性）で送金することにはありますが、もしも本当に必要な時にスケーラビリティ問題が発生してしまうと②瞬時に送金することができません。

しかし、この問題を解決する分散型元帳構造に DAG 組織モデルを活用した、従来ブロックチェーンの問題点を解決した上、新しい機能を追加した仮想通貨もあります。

DAG とは、Directed acyclic graph の略で、有向非巡回グラフと呼ばれる仕組みのことです。

私たちはこの DAG の技術を導入し、DAG 仮想通貨の特徴を発揮できる具体的な計画について次項より述べていきます。

World Nuqumority Transporters の目的と活動

1. 方針

通信技術が発達し、お金やメッセージを簡単に送ることができるようになりました。

しかし、誰かが困っているときに、寄付や支援に対してお金を送ることに多くの方は抵抗があります。

使用用途の不透明な寄付を集める団体。送金に時間・費用が掛かりすぎてしまう。寄付や支援を行う人に対して偽善だと言う人もいます。他にも多くの理由がありますが、大きくはこのような問題が挙げられます。

そのために、何か力になりたい。何かしたいと考えても、自分の援助は本当に支援が必要な人に届くのだろうかという不信感が根付いています。

World Nuqumority Transporters(WNT) は、皆様の善意を DAG システムの透明性と、より高速な送金システムにより、本当に支援が必要な方へ即座に「ぬくもり (WNT)」を送ることを実現し、助け合いの懸け橋になりたいと考えます。

誰かを助けるという行為を偽善の自己満足だと言うことは簡単です。

ですが、困った人に手を差し伸べることも同じように簡単なのです。

2. 私たちの目的

DAG 技術を利用した WNT は、災害復興支援を行うための仮想通貨であり、様々な支援や寄付を行うための仮想通貨です。

被災地へのスムーズな支援を実現する寄付機能を実装した災害情報プラットフォームを開発し、万が一の際に手元に現金がなくても物資の調達ができるように WNT による決済の普及を目指します。

3. 活動

World Nuqumority Transporters は災害復興支援や、私たちの生活を支える様々な物や動物、教育に対する支援、これから将来を担ってくれる子どもたちへの支援に尽力したいと考えています。

まず、活動内容の一つとして WNT 支援ネットワークを展開しています。

支援を求める様々な団体を WNT 支援ネットワークに掲載し、World Nuqumority Transporters 参加者への周知を行うとともに、WNT による寄付を募り、誰でも簡単に支援や応援メッセージを送ることができるシステムを提供することで支援希望者と参加者を結びつける役割を果たします。(※詳細 P9 に掲載) 私たちの活動はネットのみではなく、支援団体に密着した活動も展開していきたいと考えており、上記で挙げている子育て支援について私たちができる取り組みを計画しています。

厚生労働省によれば日本の子どもの貧困率は 13.9%（2015 年）で先進国の中でもトップクラスです。

2013 年に「子どもの貧困対策の推進に関する法律（以下、子どもの貧困対策法）」が成立しましたが、具体的な対策は自治体の取り組みによるものです。またここには心の貧困は考慮されておられません。

私たちは子どもの貧困に対してだけでなく、地域の拠点、居場所としての役割を担う「子ども食堂」の取り組みに賛同するとともに、私たちにできる取り組みの一つとして、子供たちと直に触れあい、子供と親の心のケアや親子の未来のための居場所づくりの活動に積極的に参加し、World Nuqumority Transporters 公式グッズを子供食堂に訪れた子供たちにプレゼントしたいと考えています。公式グッズを私たちの「ぬくもり」として手渡したいという想いです。



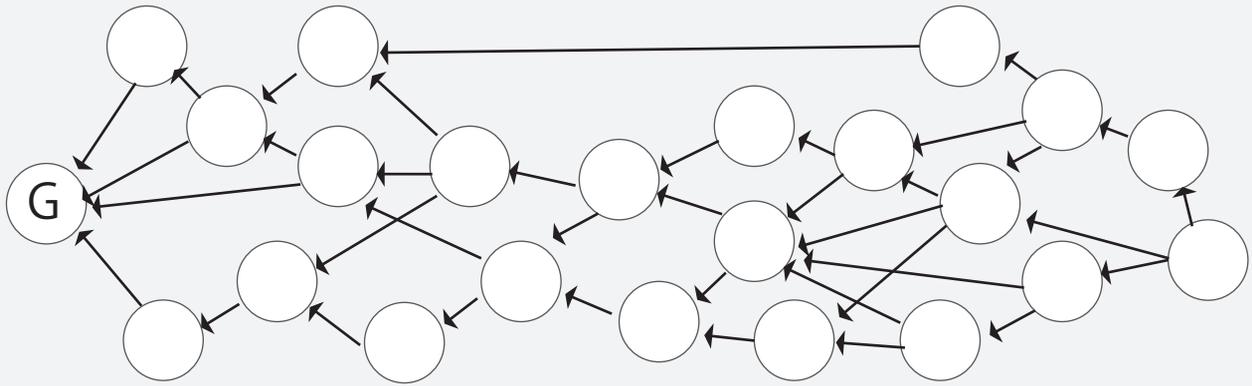
子供たちの学習用に文具を作成しています。

3-2. 災害復興支援への取り組み

World Nuqumority Transporters は、災害発生時に情報の収集を行い、被災状況を配信し、状況に応じた支援を可能とする災害情報プラットフォームの開発を行っています。前項で紹介した WNT 支援ネットワークでも災害復興支援を掲載し、より多くの参加者を募るために、行政機関、企業、民間団体への広報活動も展開していきます。災害発生時、被災地に瞬時に送金をする事ができ、かつ安い送金手数料であることは World Nuqumority Transporters のプロジェクトに必要な要素と考え、日本で初めて DAG 技術を実装した絆コインの運営を行う KIZUNA GLOBAL Inc. と技術提携を結び DAG の導入を行いました。

World Nuqumority Transporters が取り入れる DAG 技術は Byteball や KIZUNACOIN をベースにしています。Byteball や KIZUNACOIN はイーサリアムのようなプラットフォーム系の機能も持った DAG 採用の仮想通貨です。この技術により、仮想通貨の送金以外にも、財産権・債務・株式などのやりとりも可能です。実際に保険や予測などの様々なアプリケーションが作成され公開されています。

DAG(Directed acyclic graph, 有向非巡回グラフ) とは



有向非巡回グラフ、有向非循環グラフ、有向無閉路グラフ（ゆうこうひじゅんかいグラフ、英: Directed acyclic graph, DAG）とは、グラフ理論における閉路のない有向グラフの事。有向グラフは頂点と有向辺（方向を示す矢印付きの辺）からなり、辺は頂点同士をつなぐが、ある頂点 v から出発し、辺をたどり、頂点 v に戻ってこないのが有向非巡回グラフである。

有向非巡回グラフは様々な情報をモデル化するのに使われる。有向非巡回グラフにおける到達可能性は半順序を構成し、全ての有限半順序は到達可能性を利用し有向非巡回グラフで表現可能である。順序づけする必要のあるタスクの集合は、あるタスクが他のタスクよりも前に行う必要があるという制約により、頂点をタスク、辺を制約条件で表現すると有向非巡回グラフで表現できる。トポロジカルソートを使うと、妥当な順序を手に入れることが出来る。加えて、有向非巡回グラフは一部が重なるシーケンスの集合を表現する際の空間効率の良い表現として利用できる。また、有向非巡回グラフはイベント間の因果関係を表現することにも使える。

さらに、有向非巡回グラフはデータの流れが一定方向のネットワークを表現することにも使える。

無向グラフにおける対応する概念は森で、森は閉路のない無向グラフである。森から方向を選ぶと *polytree* と呼ばれる特殊な有向非巡回グラフを作ることが出来る。しかしながら、無向非巡回グラフ（森）に方向付けする方法では作れない有向非巡回グラフがあり、全ての無向グラフは *acyclic orientation* があるため、辺に方向付けると有向非巡回グラフになる。この理由から、*directed acyclic graph* と呼ぶよりも *acyclic directed graph* と呼ぶ方が正確である。

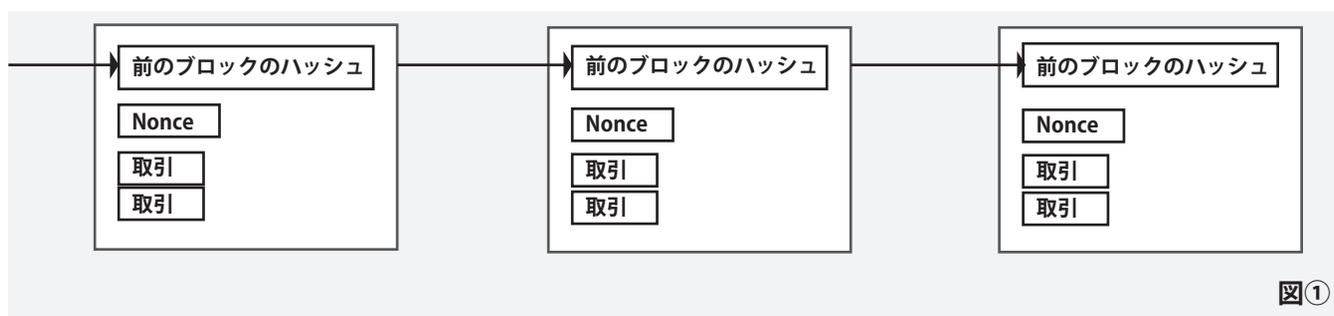
なお、有向非巡回グラフをプロトコルとした仮想通貨に、BYTEBALL、IOTA がある

出典元：wikipedia 有向非巡回グラフ

DAG の大きな特徴

- ブロックの概念が無い
- マイナーがない
- トランザクションの承認時間が速い
- 送金手数料もとても少ない

DAG(Directed acyclic graph, 有向非巡回グラフ)は次世代の仮想通貨技術として期待されており、従来のブロックチェーン技術で懸念されているスケーラビリティの問題を改善することや、マイナーを必要としないことでマイクロペイメントの普及につながるかもしれないという観点からも、近い将来、DAG がブロックチェーンに取って代わる可能性はあり得えます。ビットコインなどのブロックチェーン技術は多数の取引履歴を一つのブロックにまとめ、1本のチェーンで繋ぐ仕組みになっています。(※図①)



一方、DAG はビットコインのような概念がなく、ブロックチェーンのような1本の直線構造ではなく、トランザクション一つ一つが細かい繊維が絡み合ったような構造になります。

その為、DAG はスケーリングに優れており、より多くのトランザクションを処理できるという能力に非常に長けているという特徴を持っています。ブロックチェーンでは、決済や送金といった取引データの検証・承認作業を行う有志によるマイニング作業が発生し、マイニングに成功した場合、BTC を報酬として受け取ります。

それに対して DAG は取引者自身が取引の正当性を承認するため、安い手数料で送金を行うことができます。WNT では12人の witness という役割のノードが生成した「メインチェーン」をもとにトランザクションに「重み」を付け、二重支払いを防いでいます。

witness による安定したメインチェーンをもとにすべてのトランザクションが有効かどうか決定されるため、DAG チェーンが再構成されて過去の確認されたトランザクションが改変されてしまうという可能性がゼロであり、一度確認された後になかったことになる可能性もゼロで、ビットコインのようないわゆる確率論的なファイナリティの問題（何確認待っても100%取引が覆されないとは言えない）が発生しないとされています。

プラットフォームの開発

私たちが開発を進めているプラットフォームとして DAG の高い技術を利用した送金システムやチャット機能を実装した災害情報システム、様々な支援希望者へより簡単に支援を行うことができる WNT 支援ネットワーク。DAG のスマートコントラクト機能を利用した独自のシステムの開発を進めています。

災害情報システム

- ・ 位置情報

(マップにより自分の位置、避難場所の確認)

- ・ 被災状況配信機能

(ニュースサイトで配信されている被災状況の取得)

- ・ チャット機能

- ・ WNT 送金機能

その他、ニーズに合わせて機能の追加

※Discord では既に地震速報 BOT を導入し、問題点やメリットの発見の検証を既に始めています。

災害情報システムは最新の災害情報を収集し被災状況の早期把握と SNS、アプリ、公式 web サイトへ情報配信するシステムです。

災害発生時にネット上に配信された情報を収集して、より優先度の高いニュースを選別して配信する情報配信システムに加え、簡単に WNT を送ることができる機能を搭載します。さらにニーズにあわせた機能を追加して、より使いやすく機能的なシステムへ進化させていく予定です。

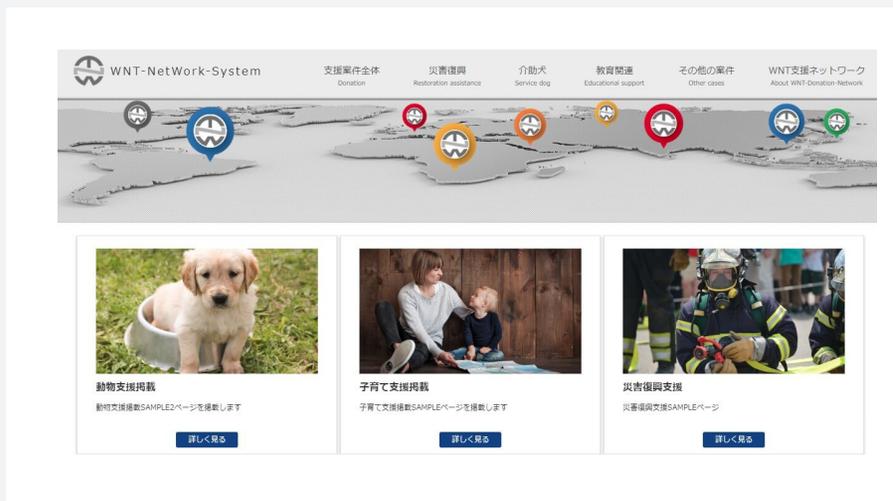
WNT 支援ネットワーク

WNT 支援ネットワークは支援希望者に対して WNT を保有する利用者が支援を行うことができるシステムです。災害復興支援や様々な支援活動を行っている団体や取り組みを紹介し、WNT 利用者からの支援を広く募集する事を目的としています。

お申込み頂いた支援希望者は World Nuqumority Transporters 運営チームによる審査後「WNT 支援ネットワークシステム」に新たな支援案件として掲載させていただきます。

掲載内容と仕組み

- ・ 支援希望者団体名
- ・ 活動内容
- ・ 支援希望者情報
- ・ 支援希望者の公式サイト
- ・ 支援受付アドレス
- ・ その他、PR 文



支援希望者様が公式サイト【寄付金募集受付】の登録フォームから登録申請がされると、新規支援案件が WNT 支援ネットワークシステムに登録されます。登録時には、【寄付金募集一覧】への掲載処理、支援案件ページの作成処理、データベースへ情報の保存処理等が自動的に実行されます。

参加者は【寄付金募集一覧】に掲載されている各支援案件ページの内容を確認する事ができ、希望する支援団体様へ寄付を行うことができます。

支援希望者様は、参加者に寄付して頂いた WNT を、仮想通貨取引所で換金することで支援を受け取ることができます。また、応援メッセージ機能により、支援団体様へ応援メッセージを送ることができます。

WNT 支援ネットワークシステムは支援を希望する団体の窓口の一つとして利用されるようなサービスを目指し、展開していきます。

WNT が寄付や支援として利用できる仮想通貨であると共に、決済手段としての利用、また DAG 技術を使用したシステムの普及に取り組みます。

これを実現させるために私たちはスマートコントラクトを利用したさらなる機能の開発を実行します。

WNT のスマートコントラクト機能については次項より述べさせていただきます。

World Nuqumority Transporters のスマートコントラクト

スマートコントラクトと言えばイーサリアム（ETH）を思い浮かべる方も多いと思いますが、Byteball や KIZUNACOIN にもスマートコントラクト機能が備わっており、これらをベースにしている World Nuqumority Transporters にも同じ機能が備わっています。

例えば Byteball のプラットフォームを利用して作られたアプリとして LuckyBytes（アプリ内で遊べる宝くじ）や Binryballs（アルトコインや US ドルの価格予想市場）があり、KIZUNACOIN では Text coin（メールアドレスに向けて KIZUNACOIN を送付する機能）があります。

私たちはこのスマートコントラクトを利用し、ユーザーに利便性が高い機能の追加やシステムを開発することで、World Nuqumority Transporters の周知を行うとともに、WNT の通貨としての価値を高めていきます。

私たちが開発を進めているシステムを次項で紹介します。

World Nuqumority Transporters の ItemCode

World Nuqumority Transporters では DAG を利用した「ItemCode」という独自の機能の開発を進めています。

「ItemCode」とは企業が自社製品を安全かつスムーズに管理することができるシステムです。

ブランド品の偽造・販売することは商標権の侵害に当たり、法的に罰せられます。

また偽物と知っていながら偽ブランド品を輸入した場合も関税法で同じく罰せられます。

ブランドとは顧客の期待に継続的に応え続けてきた企業の資産であり、偽造品はその企業が積み上げてきた信頼を簡単に壊してしまいます。企業だけでなく購買者にまでその不利益が及んでいる状況です。

ItemCode は製品とお金のやり取りだけではなく、ブランドと購買者を繋ぐ絆を守る非常に重要な役割を担うテクノロジーになりえます。

「ItemCode」を使えば

例えば、A ブランドが製造してる財布に「wallet-A」という ItemCode が発行されたとします。

この「wallet-A」という財布には製品一つ一つに Code が付与され、製造者が登録した製品に関する情報と ItemCode を紐づけることにより、消費者は真贋判定や製品情報の把握を瞬時に行うことができます。

World Nuqumority Transporters が導入する DAG システムは Witness という 12 のノードがメインチェーンを作り出し、witness による安定したメインチェーンをもとにすべてのトランザクションが有効かどうか決定されるため、DAG チェーンが再構成されて過去の確認されたトランザクションが改変されてしまうという可能性が極めて低いと言えます。

これは DAG 技術を利用し、企業が生産する製品一つ一つに付与することができる、いわゆる「マイナンバー」のようなものです。もちろんこの「マイナンバーの情報」は改竄することはできません。

そのため、企業が「ItemCode」を導入することで商品管理の安全性が保たれ、複製の流入による企業ブランドイメージの低下を防ぐことができ、消費者は安全に正規品を購入できるという大きなメリットがあります。

当社は「ItemCode」を企業に提供し、使用に必要な WNT を市場から購入して頂き、購入して頂いた WNT、または現金、BTC 等の仮想通貨を使用料として頂きます。

現金、BTC 等の仮想通貨で頂いた場合、当社はその費用を WNT 購入に充てます。

頂いた使用料の一部を導入して頂いた企業から一存を得た上で、WNT 支援ネットワークシステム上の支援団体へ寄付を行うこととし、WNT 支援ネットワークシステムに企業名を掲載します。

結果として、企業は DAG 技術で管理された正規品を消費者に提供することができ、顧客獲得と顧客維持率を向上させると共に、支援企業としてのイメージの向上を図ることができます。

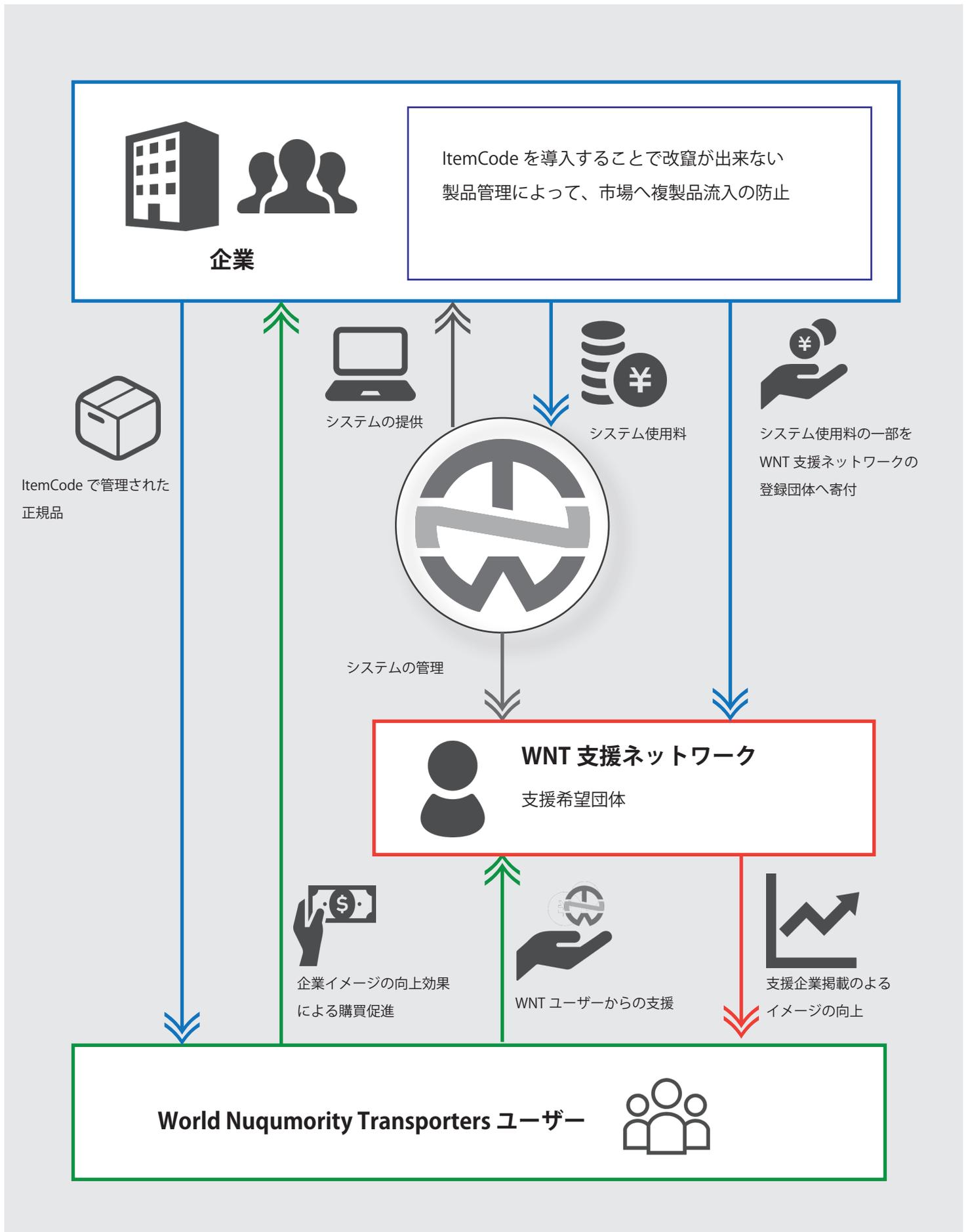
【要点】

- ① 当社は企業のニーズに合わせた ItemCode を発行し、企業は WNT または BTC 等の仮想通貨を市場から購入
- ② 企業は WNT、BTC 等の仮想通貨、または現金を ItemCode の使用料として当社に支払う
- ③ 現金、BTC 等の仮想通貨で頂いた場合、当社はその費用の一部を WNT 購入に充当
- ④ 頂いた使用料の一部を導入して頂いた企業から一存を得て、WNT 支援ネットワークシステム上の支援団体へ寄付
- ⑤ WNT 支援ネットワークシステムに寄付を行った企業名を掲載

これにより私たちは【「ItemCode」を導入した、安全な製品を生産する企業】という大きな【ブランド】を構築することができます。

仮想通貨は価格の変動の大きさから、投資対象としての側面で見られることが強く、まだテクノロジーとしての理解が浸透していません。今後、この仕組みに賛同頂ける企業を多く募り、企業の社会貢献の促進という側面とテクノロジーの発展を目指していきます。

ItemCode による経済圏



ItemCode の具体例

ItemCode を実用できる一つの例として、これから特に識別の必要性があるダイヤモンドを挙げます。

「永遠の輝き」のキャッチフレーズを持つ高価な宝石としての確固たる地位を築いているダイヤモンドですが、地中から掘り起こした天然のダイヤモンドと人工的に作り出されたものがあります。

炭素が地球の地下数百 km の地中深くで何十億年という長い間、高温と高圧力に晒され、地殻変動やマグマなどにより地表近くまで移動し採掘された偶然の産物が天然ダイヤです。人工ダイヤは地球内部で生成される天然ダイヤに対して、同じ炭素を用いて科学技術により人工的に生成のプロセスを再現して作られているもので、どちらも立方体構造の炭素からできている本物のダイヤモンドです。

人工ダイヤモンドの品質はピンキリではありますが、高品質な物は鑑定士でも容易に判別ができないと言われています。現在行っている窒素による判別方法は、今後、人工ダイヤモンド生成の技術が進化することで判別が難しくなると懸念されています。

人工ダイヤモンドを製造する過程で人工ダイヤモンドの個体一つ一つに ItemCode を付与し、ItemCode と DAG 上で管理されている情報（製造元、製造日時、個体データ）を紐づけることで判別をより確実に行うことができ、ItemCode 自体が「改竄することが不可能な鑑定書」となります。

これによって天然ダイヤモンドと人工ダイヤモンドの品質と価値の住み分けを守ることができ、それぞれの希少性をより高めていけるものになります。



ItemCode はすでにいくつかのプロジェクトが実用しているブロックチェーンを利用したソフトウェアの「シリアルキー」としても活用することもできます。

例えば Microsoft 社の windows や office などのソフトと合わせて「プロダクトキー」や「ライセンスキー」が必要になります。購入したソフトのロックを「プロダクトキー」や「ライセンスキー」で解除することにより利用することができます。

ItemCode を利用した場合、スマートコントラクトを使って契約することにより格納された値を参照し、ロックの解除条件を満たしているか確認を行います。また条件を付与することで制限付き利用を実現することができます。改竄不可能な著作権データを ItemCode に情報として記録しておくことで著作権の保護、ライセンスが強化され、海賊版ソフトや作品の無断使用を防ぐことができます。

このように ItemCode は企業のニーズに合わせて幅広い範囲で活躍することが可能であり、実用化することは急務だと考えます。

マイニングのシステム開発管理事業

マイニングとは・・・

仮想通貨は一定の時間のすべてのトランザクション（取引）を格納したブロックと呼ばれるデータの単位を生成し、トランザクションが新規に生成されたブロックを承認していくことで次々と新たなブロックが生成され鎖（チェーン）のように連結していくことでデータを補完するデータベースです。

この時に行われる取引を承認する作業がマイニングというわけです。このマイニングを行うことで報酬を得ることができます。

ビットコインの高騰により多くの大手企業がマイニング事業に参戦しました。

しかし近年の価格の下落や想定を上回るハッシュレートの上昇により予定していたマイニングシェアが得られない、また自社によるマイニングマシン開発、製造事業は需要の減少、競争環境の激化などの事業環境の変化により、参戦した多くの企業は撤退を余儀なくされました。

しかし一方では仮想通貨やマイニングマシンの価格が低迷している今が参戦時期だと考えている企業もあります。

私たちは仮想通貨マイニングのシステム開発管理業務を行っており、企業が運営するマイニングファームと提携してマイニングのシステム開発管理業務を請け負っています。



私たちは最も効率の良いマイニングの検証を行っており、仮想通貨マイニングのマネジメントを提携企業に提案しています。また独自で開発している管理システムを提供することでマイニングファームの管理に必要な人件費の大幅な削減を行うことができます。

私たちは今後、この独自の管理システムにも DAG 技術を導入していく予定です。

World Nuqumority Transporters の公式キャラクター

World Nuqumority Transporters の公式キャラクター「ぬくもりちゃん」「ぬくもりひつじちゃん」です。

コミュニティの皆様と一緒に、色々なイベントの集計や通訳をしてくれたり、World Nuqumority Transporters の「ぬくもりを届けやすく」をより親しみやすく伝わるよう貢献されています。

プロフィール

名前 ぬくもりちゃん

身長 160cm

体重 秘密

特徴 おしとやかな女子高生

性格 優しい静かな感じ

髪型 ロングで毛先がウェーブ

趣味 ぬくもりひつじちゃんをモフモフ

甘いものを食べること、お菓子作り、

読書 小さな幸せ探し

お仕事 秘書【イベントの集計、通訳等】

※ディスコードで通訳が必要な時はお手伝いしてくれます。

翻訳コマンド：sl [言語]<メッセージ>

対応言語一覧：ja (日本語) ,de (ドイツ語) ,en (英語) ,es (スペイン語) ,fr (フランス語) ,it (イタリア語) ,

ko (韓国語) ,ms (マレー語) ,pt (ポルトガル語) ,ru (ロシア語) ,zh (中国語) ,zh-cn(中国語(簡体字))

zh-tw(中国語(繁体字))



名前 ぬくもりひつじちゃん

身長 50cm

体重 3kg

性格 明るく好奇心旺盛

好物 三つ葉。四つ葉はもったいなくて食べない。



公式サイトにキャラクター関連グッズを掲載しています。

<https://worldnuqumoritytransporters.com/official/index.html>

Road Map

2018 7~12月

World Nuqumority Token の発行

無料配布の実施

WNT 支援ネットワーク開発開始

WHITEPAPER.Ver1 公開

プレセールの実施

World Nuqumority Transporters.Llc を設立

KIZUNA GLOBAL Inc との技術提携

DAG アルゴリズム World Nuqumority Transporters (DAGWNT) 開発開始

2019 Q1

海外取引所への上場

仮想通貨マイニングファームとの業務提携

支援団体などへの WNT の周知

WNT 支援ネットワークテスト運用開始

WHITEPAPER.Ver2 公開

2019 Q2

DAG WNT のテスト運用開始

DAG WNT ウォレットの提供開始 (win/mac/Linux/android/ios)

DAG WNT へのスワップ

複数海外取引所への上場

独自機能「Item Code」のテスト運用開始

海外マーケティング

2019 Q3

独自機能「Item Code」の運用開始

災害情報プラットフォームの開発開始

2019 Q4

災害情報システム・WNT 支援ネットワークの機能の充実

2020~

WNT を利用した支援を実現するためのインフラの構築

行政機関との連携

World Nuqumority Transporters



Name: World Nuqumority Transporters

Coin ticker: WNT

Algorithm: Directed acyclic graph

Maximum coin supply: 10,000,000,000



セール ...10%
支援用ロックアップ ...20%
ItemCode 導入企業ロックアップ ...30%
スワップ ...10%
提携企業ロックアップ ...10%
運営チーム ...10%
広告宣伝 ...10%

COMPANY

会社名 : World Nuqumority Transporters.Llc

住所 : 大分県大分市府内町 1-1-15 府内センタービル 4F

mail : info@wnt.main.jp

創業 : 2018 年 12 月 20 日

事業内容 : 仮想通貨 World Nuqumority Transporters (WNT) 運営事業

仮想通貨マイニング及びシステム開発管理事業

仮想通貨コンサルティング事業

Website URL: <https://worldnuqumoritytransporters.com/>

Git Repository: <https://github.com/worldnuqumoritytransporters>

Explorer: <https://wnt.worldnuqumoritytransporters.com/>

PROJECT MEMBER



Tsukasa Fukumoto CEO



Masaki Kobayashi CEO 兼 CMO

SUPPORT MEMBER

Sayaka Kobayashi
ADVISOR

Tetsuya Ashihara
SYSTEM ENGINEERS

Masataka Goto
DESIGNER

WORLD NUQUMORITY TRANSPORTERS.LIc

